

THORPEX 研究連絡会 第2回研究集会のご案内

日 時：2005年11月19日（土）（大会前日）
13：00～17：30

場 所：神戸大学瀧川記念学術交流会館大会議室
（大会 B 会場）

テーマ：アンサンブル予報とその高度利用

趣 旨：THORPEX では、アンサンブル予報の活用が重要なテーマの1つとして位置づけられている。まず、アンサンブル予報から得られる誤差情報は、次の予報を行なうためのデータ同化と初期擾乱の作成に用いることができる。また、付加価値の高い予報プロダクトとして、防災や経済活動などにも応用が試みられつつある。そこで、本研究集会では、様々な分野でアンサンブル予報がどのように活用されているか、今後どのような活用が考えられるか、各分野での事例を講演者に紹介していただき、参加者とともに議論したい。

司 会：余田成男（京大理）

プログラム：

座長：榎本 剛（海洋機構地球シミュレータセンター）

- ・三好建正（気象庁数値予報課）
「アンサンブル・カルマンフィルタ（仮題）」
 - ・山口宗彦（気象庁数値予報課）
「気象庁が運用するアンサンブル予報とその利用」
 - ・中北英一（京大防災研）
「流域降雨予測ならびに洪水予測と気象予測の不確定性情報」
- 座長：中澤哲夫（気象研究所）
- ・山本 毅（みずほ第一フィナンシャルテクノロジー）
「アンサンブル予報の活用法：企業の気温リスク分析法とリスクヘッジ法」
 - ・津坂秩也（中部電力本店中央給電指令所）
「電力会社における気象予測の影響」
 - ・総合討論（司会：余田成男）

日本気象学会 THORPEX 研究連絡会世話人：余田成男、中澤哲夫、木本昌秀、向川 均、榎本 剛
連絡先：榎本 剛 E-mail：eno@jamstec.go.jp
Tel：045-778-5867, Fax：045-778-5492

日本気象学会英文レター誌 SOLA
(Scientific Online Letters on the Atmosphere)
<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/sola/>

第1巻 2005年8月 目次

M. KIMOTO, N. YASUTOMI, C. YOKOYAMA and S. EMORI : Projected Changes in Precipitation Characteristics around Japan under the Global Warming	85-88
Masamichi OHBA and Hiroaki UEDA : Basin-wide Warming in the Equatorial Indian Ocean Associated with El Niño	89-92
